

禅学関係雑誌論文目録 (1988年)

著者	論文名	雑誌名	巻号	発行月
〔思想〕				
東 隆 眞	『正法眼蔵』に基づく仏道の体系 (一)「正伝」の仏道一	日本仏教学会年報	54	7
新 井 勝 龍	曹洞五位説の根本性格 —「元真長老棟」を中心として—	印度学仏教学研究	37-1	12
栗 谷 良 道	『正法眼蔵』と『正法眼蔵聴書』 (一)「尽界の解釈について」	宗学研究所紀要	1	3
栗 谷 良 道	『正法眼蔵』における大地観	宗学研究	30	3
安 藤 眞	大乘仏教の日本文芸に及ぼせる影 響の一考察—芭蕉の俳諧と仏教的 体験について—	仏教経済研究	17	4
井 筒 俊 彦	禅的意識のフィールド構造	思想	770	8
石 井 修 道	寿井伯著『禅宗史研究』の緒言 をめぐって	宗学研究	30	3
石 井 修 道	禅の分類について —圭峰宗密の五種禅の見直し—	禅文化研究所紀要	15	12
石 井 清 純	公案解釈から見た『永平広録』上 堂の性格—七十五巻本『正法眼蔵』 との対比から—	宗学研究所紀要	1	3
石 井 清 純	十二巻本『正法眼蔵』と『永平広 録』—「百丈野狐」の話を中心と して—	宗学研究	30	3
市 木 武 雄	梅花無尽蔵注釈(1)	昭和学院短期大学紀要	24	3
大 橋 良 介	西谷哲学—西田哲学の突破—	思想	768	6
大 谷 哲 夫	近世洞門における三教観《承前》 —『天桂禅師船歌』をめぐりて—	印度学仏教学研究	36-2	3
沖 本 玄 堤	禅の思想とその流れ(2)~(3)	正法輪	38-1~6	1~5
沖 本 克 己	異類について	禅文化研究所紀要	15	12
沖 本 克 己	禅と如来蔵	花園大学研究紀要	19	3
カ ヴ ァ ニ ヤ ・ チ エ レ	禅とキリスト教	仏教学研究会年報 (駒沢大)	21	2
笠 井 眞	『正法眼蔵』と『テオロギア・ド イッチュ』—比較思想論的研究—	宗学研究	30	3
金 子 和 弘	『永平清規』における行の具体相 —禅宗文化展開の源流—	宗学研究所紀要	1	3
金 子 和 弘	禅と日本文化 —その一味性の根拠—	印度学仏教学研究	36-2	3
茅 原 正	永平広録における時の性格(2)	宗教学論宗	14	3
韓 京 洙	永明延寿の禅淨融合思想	印度学仏教学研究	37-1	12
木 下 純 一	弁道話考—先尼外道批判と実存的 意義—	宗学研究	30	3

工藤英勝	差別の論理構造 —曹洞宗切紙における業・輪廻・ 仏性思想について—	宗学研究	30	3
小林真鏡	行持の位相—正法眼蔵私解—	宗学研究	30	3
佐々木俊道	道元禪と天台論議 —『百題自在房』をめぐる覚書—	宗学研究	30	3
佐々木俊道	道元禪と天台本覚法門に関する一 考察	印度学仏教学研究	37-1	12
佐藤悦成	『正法眼蔵』「仏経」考	宗学研究	30	3
佐藤悦成	『正法眼蔵』「諸悪莫作」論考	印度学仏教学研究	36-2	3
佐藤練太郎	陽明学における狂禪について	禪文化研究所紀要	15	12
志部憲一	天桂伝尊の疑団について	印度学仏教学研究	36-2	3
杉尾玄有	月と仏と虚空—道元禪師『正法眼 蔵』初中後—	宗学研究	30	3
鈴木省訓	臨済宗旨考	中国仏蹟見聞記	9	8
住田良仁	道元禪における日常生活の哲学	文明研究所紀要(東海大)	8	3
田中常憲	弁道話の大意	宗学研究	30	3
滝沢精一郎	箇中意(下) 良寛詩の系譜	野州国文学	41	3
竹内弘道	真歇清了の思想について —『信心銘拈提』瑩山親撰の可能 性を発端として—	印度学仏教学研究	36-2	3
玉城康四郎	『正法眼蔵』における仏道の道程	宗学研究	30	3
辻口雄一郎	正法眼蔵における有と時(上)	宗学研究	30	3
角田泰隆	道元禪師の修証観に関する問題に ついて(一)—『正法眼蔵』における 説示から—	宗学研究所紀要	1	3
角田泰隆	道元禪師の修証観に関する問題に ついて(二)	宗学研究	30	3
鄭茂煥	祖師禪の基本思想	仏教学研究会年報 (駒沢大)	21	2
西村恵信	白隠禪に於ける修道体系の性格 —『宗門無尽灯論』をめぐる—	日本仏教学会年報	54	7
西村恵信	無仏の地平	禪文化研究所紀要	15	12
西嶋愚道	正法眼蔵における本覚・始覚思想 について	宗学研究	30	3
袴谷憲昭	十二卷『正法眼蔵』撰述説再考	宗学研究	30	3
袴谷憲昭	道元に対する「全一の仏法」的理 解の批判	宗教学論宗	14	3
橋本芳契	西田哲学と仏教観 —善の研究を中心に—	日本海文化研究所紀要 (金沢大)	14	3
橋本芳契	西田幾多郎の生涯とその顕彰運動	日本海域研究所報告	20	10
橋本芳契	維摩経と西田哲学 —Yamakaの論理について—	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
林叢	漱石の愚と良寛の愚—一則天去私を 基礎づける思想—	二松	2	3
原田弘道	道元禪の体系	日本仏教学会年報	54	7

平野宗浄	臨濟禪を考えるヒント—伝大燈撰句集のあとがきにかえて—	禪文化研究所紀要	15	12
古田紹欽	乾屎厥考	禪文化研究所紀要	15	12
星清	中世日中禅思想交差史の一断面(4)~(8)	文明	52~4	3・6・11
三浦徹明	禅の哲学における般若の智慧(ブラジュニヤ—) —鈴木大拙の論文によせて—	日本文化(拓殖大)	4	2
水野弥穂子	正法眼蔵はどう読み上げられたか	宗学研究	30	3
務台孝尚	道元禅師の道得について	宗学研究	30	3
務台孝尚	道元禅師における”時”の一考察	印度学仏教学研究	37-1	12
矢崎彰	西田幾多郎と明治後期の思想— 一個の基礎付けとしての哲学—	民衆史研究	36	11
吉川忠夫	脇は席に至らず— 全真教と禅をめぐって—	禪文化研究所紀要	15	12
楼宇烈	敦煌本『壇経』、『曹溪大師伝』および初期禅宗思想	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
和田昌太郎	禅と念仏の問題	印度学仏教学研究	36-2	3
和田真二	鈴木大拙博士における「楞伽経研究」の意義	印度学仏教学研究	36-2	3

〔中国〕

阿部肇一	唐代蜀地の禅宗	駒沢大学文学部研究紀要	46	3
阿部肇一	北宋の張商英と仏教宗	教学論宗	14	3
安藤嘉則	中国禅定思想史における羅什訳禪経について—『坐禅三昧経』と初期禅宗・天台法門—	宗学研究	30	3
石井修道	滄仰宗の盛衰(2)	駒沢大学仏教学部論集	19	10
石井修道	仰山慧寂と『六祖壇経』	印度学仏教学研究	36-2	3
石井修道	曹溪大師伝考	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
石井修道	靈巖寺の宝公禅師塔銘を見付けて	中国仏蹟見聞記	9	8
石川重雄	宋代勅差住持制小考	宋代史研究会研究報告	3	5
石川力山	宋版『龐居士語録』について	禪文化研究所紀要	15	12
尾崎正善	滄山仰山の著語について— 滄仰と初期臨濟下の関係について—	宗学研究	30	3
尾崎正善	仰山小釈迦考	仏教学研究年報(駒沢大)	21	2
尾崎正善	『天聖広灯録』に関する一考察	印度学仏教学研究	37,1	12
尾崎正善	二祖山元符寺の達磨塔銘について	中国仏蹟見聞記	9	8
大松博典	首楞嚴経註釈書考	宗学研究	30	3
衣川賢次	臨濟録札記	禪文化研究所紀要	15	12
椎名宏雄	宋元版禅籍の逸書	宗学研究	30	3

禪名宏雄	宋元版禪籍研究(4) —石林和尚語録・鏡堂和尚語録—	印度学仏教学研究	37-1	12
椎名宏雄	『伝法正宗記』諸本の系統	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
椎名宏雄	北く石+間>と物初の著作に関する書誌的考察	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
仙石景章	『宗鏡録』引用の諸文献—『永嘉集』と『証道歌』について—	宗学研究	30	3
仙石景章	宗鏡録の引用諸文献	印度学仏教学研究	37-1	12
孫昌武	唐代文人的習禪風氣	禪文化研究所紀要	15	12
孫昌武	禪の活句と詩の話法	未名(神戸大)	7	12
新谷秀明	嵩山少林寺参観の覚書	日本歴史	478	3
竹内道雄	禅宗第四祖道信の教え(2)	宗教学論宗	14	3
デーヴィッド・W・チャペル	南宋における仏教信仰の一側面	駒沢大学仏教学部論集	19	10
永井政之	禪林における四時と四節—清規に見る—	印度学仏教学研究	36-2	3
成河峰雄	福州東禪寺版『景德伝燈録』について—東寺蔵・上醍醐寺蔵の調査報告を兼ねて—	禪文化研究所紀要	15	12
西口芳男	寒山拾得の世界	日本文芸学	25	12
西川正子	松源崇嶽と天童如浄	印度学仏教学研究	36-2	3
長谷川昌弘	万峰伝の構造分析と明清時代成立	愛知学院大学教養部紀要	36-1	11
長谷部幽暎	諸燈録との考較	禪研究所紀要	16	3
長谷部幽暎	明清仏教研究資料(2)	仏教経済研究	17	4
原田弘道	中国における経済社会と禅宗	禪文化研究所紀要	15	12
ベルナル・ル・フォ	神秀と華嚴経	禪文化研究所紀要	15	12
柳田聖山	神会の肖像	禪文化研究所紀要	15	12
楼宇烈	胡適禅宗史研究平議	宗学研究所紀要	1	3

〔朝鮮〕

孫昌武	『祖源通録撮要』の出現とその史料価値	禪文化研究所紀要	15	12
新谷秀明	高麗武臣政権下の禪について(一)	禪文化研究所紀要	15	12

〔日本〕

アラン・コラ	五山の詩僧(その3)	フランス文学(立教大)	17	3
秋宗康子	禅昌寺旧蔵「南禅寺一切経」墨書奥書について	兵庫県の歴史	24	3
東隆眞	高祖道元禪師と太祖瑩山禪師禪	禪研究所紀要	16	3
伊藤悟	夢窓国師と求道者	美文会報	240	4
伊藤克己	大徳寺創立の歴史的前提	駒沢史学	39・40	9
伊藤克己	大徳寺涅槃堂—大徳寺の歴史的性格へのアプローチ—	宗学研究	30	3

伊藤秀憲	正法眼蔵抄口語訳の試み 仏性(8)	駒沢大学仏教学部論集	19	10
井上誠	雪舟と牧松周省	山口県地方史研究	59	6
石川力山	雑学事件と近世仏教の性格	印度学仏教学研究	37-1	12
石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(1) —追善・葬送供養関係を中心として(補)一	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
石川力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(2)	駒沢大学仏教学部論集	19	10
石川力山	長徳寺所蔵の切紙資料について —禅宗の仏事法要の意味と意義—	みずくらいど	6	2
石川力山	洞門抄物の発生とその性格	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
石島尚雄	詮慧に関する資料について	宗学研究所紀要	1	3
石島尚雄	道元禅師滅後の詮慧について	宗学研究	30	3
今泉淑夫	渡唐天神像三題	日本歴史	485	10
入間田宣夫	もうひとつの御恩と奉公 —沙石集とその時代—	総合研究 中世の文化		2
江口正尊	中国人仏師范道生と七条中仏所 仏師	史迹と美術	584	5
遠藤廣昭	上杉氏領国下における曹洞宗の展 開	駒沢史学	39-40	9
遠藤廣昭	三河国龍溪院輪住制と地域社会 —「祠堂帳」分析を中心として—	宗学研究	30	3
大河内智子	建長寺僧籍帳(9)	鎌倉	57	5
大石雅章	顕密体制内における禅・律・念仏 の位置	中性寺院史の研究 上巻		3
奥本武祐	近世前期寺院復興運動と女性 —鈴木正三を中心に—	龍谷史壇	91	3
奥本武裕	「公儀仏教」論の成立 —鈴木正三における国家・寺院・ 民衆—	近世仏教—史料と研究—	7	1
鏡島元隆	十二巻正法眼蔵について	駒沢大学仏教学部論集	19	10
蔭木英雄	翰林五鳳集について —近世初期漢文学管見—	相愛大学研究論集	4	3
金子和弘	道元禅師の画像をめぐる	宗学研究	30	3
神谷和正	実相寺仏殿移築説の再検討	三河地域史研究	6	11
河村孝道	古本75巻本正法眼蔵の研究(9) —正法眼蔵聞書抄依用の正法眼蔵 本文復元化の試み—	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
河村孝道	正法眼蔵の資料について	仏教学研究会年報 (駒沢大)	21	2
川口高風	明治期曹洞宗における出版書の研 究	禅研究所紀要	16	3
川添昭二	新安沈没船釣寂庵木簡試考	日本歴史	476	1
小坂機融	室町期清規考—正法寺清規と龍泰 寺行事次序を介して—	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
光地英学	瑩祖の択法眼	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3

佐々木俊道	本証妙修理解に関する一考察—静明の『百題自在房』をめぐって—	仏教学研究会年報(駒沢大)	21	2
佐々木章格	日本曹洞宗と大権修理菩薩	宗学研究所紀要	1	3
佐々木章格	連山交易の研究(二) —その著述について—	宗学研究	30	3
佐藤 円	旗本寺の扁額について(1) —副將軍と心越禪師と芭蕉—	杉並郷土史学会報	90	7
佐藤秀孝	耕雲寺傑堂能勝伝について	宗学研究所紀要	1	3
佐藤秀孝	入唐僧瓦屋能光について —曹洞宗史上最初の日本僧—	宗学研究	30	3
佐藤俊晃	曹洞宗教団における白山信仰受容史の問題(3)	宗学研究	30	3
佐藤俊晃	白山の位相 —曹洞宗教団史研究の一試考—	駒沢大学仏教学部論集	19	10
志部 憲一	天桂伝尊の疑団と本来成仏論	宗学研究所紀要	1	3
志部 憲一	天桂伝尊と楞嚴・円覚経について	宗学研究	30	3
柴沢俊・劉憲武	南禅寺	近畿文化	464	7
末木文美士	奈良時代の禅	禅文化研究所紀要	15	12
鈴木宗憲	加賀藩の被差別民	北陸宗教文化研策会会報	3	3
鈴木祐孝	天桂伝尊の研究	宗学研究	30	3
鈴木祐孝	天桂伝尊の研究	印度学仏教学研究	37-1	12
田浪 龍之	東頸城における堂庵	宗学研究	30	3
竹内弘道	瑩山禪師の著作について(三)—古写本『洞谷記』と流布本『洞谷記』—	宗学研究所紀要	1	3
竹内弘道	瑩山禪師の著作について(四) —『秘密正法眼蔵』の考察—	宗学研究	30	3
竹内尚次	白隠和尚自画賛集と東嶺和尚書入 荊叢毒藥および甲州巡錫三ヶ寺	宗教学論集	14	3
団野弘之	永平寺開版後における正法眼蔵の 謄写について	宗学研究	30	3
千坂 修峰	中敵円月の詩にみる政治性 —蔭木英雄著『中世禪者の軌跡中 敵円月』の書評をかねて—	聖和	25	3
永島福太郎	蔭涼軒真藥西堂の南都見物	禅文化研究所紀要	15	12
中世古祥道	道元禪師の誕生地について	宗学研究	30	3
中尾良信	金剛三昧院隆禅について	印度学仏教学研究	36-2	3
中尾良信	瑩山禪師と法燈派	宗学研究所紀要	1	3
中尾良信	無本覚心行実の問題点	宗学研究	30	3
新倉和文	「興禅護国論」血脈門の偽撰説	印度学仏教学研究	36-2	3
西村恵信	『禅林象器箋』抄积(1)~(6)	正法輪	38-2・3~8	3~8
野村育世	家領の相続に見る九条家	日本歴史	481	6
浜野武夫	良寛さま	富士を守る	128	3

原田 弘道	総持寺五院輪住制度考	駒沢大学仏教学部研究紀要	46	3
原田 弘道	中世曹洞禪における羅漢信仰	駒沢大学仏教学部論集	19	10
原田 弘道	中世曹洞宗と羅漢信仰	印度学仏教学研究	37-1	12
原田 正俊	中性社会における禅僧と時衆 ——遍上人参学説話再考——	日本史研究	313	8
平野 宗浄	伝大燈撰句集(芳春院藏)	禅文化研究所紀要	15	12
藤田 定興	近世期伊達地方の曹洞宗寺院とその支配・維持機構	福島県歴史資料館研究紀要	10	3
古田 紹欽	白隠が沙羅樹下の老衲と成るまで	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
前田 元重	覚園寺藏木鉢の台座をめぐる二、三の問題	三浦古文化	44	11
松田 紹典	死と転生(5) ——常州佐竹郡密洞宗論——	聖和	25	3
松田 紹典	戦国時代大蟲宗岑の語録「長沙録に学ぶ」(1)~(3)	正法輪	38-6~8	6~8
丸山 昭彦	芸備における五山禅院領の展開	芸備地方史研究	163-4	4
宮田 俊彦	大雄山法雲寺の二尊宿	常総の歴史	2	6
宮島 新一	高峰顯日の頂相について	金沢文庫研究	281	9
守屋 茂	道元禅師と北越移錫の真相 ——道元の決断と白山天台の影響——	叡山学院研究紀要	11	12
守屋 茂	道元禅師と北越移錫の真相	宗学研究	30	3
森 俊彦	南山禅師管見	仙台郷土研究	13.1	7
安川 浄生	望東尼の禅の生活	西日本文化	245	10
山本 世紀	初期禅宗寺院の性格について ——上野国長楽寺を中心に——	下出積与編 日本宗教史論纂		5
横山 秀哉	近世禅刹伽藍計画と曹洞宗	宗学研究	30	3
横山 住雄	鶉沼正法寺の歴史とその前身寺院	美文会報	238	2
吉田 道興	高祖道元禅師の如浄禅師よりの伝戒に関する問題点	宗学研究	30	3
渡部 賢宗・他	卍山本永平広録巻第一	岩見沢駒沢短期大学論集	1	3
渡部 正英	曹洞宗寺院における鎮守について	宗学研究	30	3
渡辺	禅文化の世界	大分県立宇佐風土記の丘 歴史	18	12
渡辺 武雄	大雄山最乗寺と仏師焔刀軒	史談足柄	26	5
〔その他〕				
秋山 洋一	楞嚴寺藏本『禅林類聚』の書き入れについて	宗学研究	30	3
伊藤 真愚	仏教的東洋医学からの生命と死 ——禅と陰陽五行論・第五報——	教化研修	31	3
板橋 興宗	椅子禅のすすめ	教化研修	31	3
小関 三郎	鹿苑日録の烟草を読んで	たばこ史研究	23	2
小野 慶太郎	禅堂教育の遺産とその現代的意義 (3)書画一体	筑波大学教育学系論集	12-2	3

大田孝彦	正木美術館藏無涯亮倪ら三僧題詩の山水図について	美術史	124	4
金子真也	黄檗清規中の唐音について —韻母を中心に—	龍谷紀要	10-2	12
川村昭光	正法眼蔵研究のコンピュータ化を探る	宗学研究	30	3
来田隆	条件句構成のウニハ続紹 —松ヶ岡文庫蔵『無門関抄』を資料として—	松ヶ岡文庫研究年報	2	3
木村誠治	教化対機としての若者達の一考察	教化研修	31	3
中村溪男	最近発見の雪村画「雲龍図」と「竹に鳩図」	古美術	86	4
中野東禅	業・因果・霊・輪廻とその解脱 —人間存在への答えの与え方—	教化研修	31	3
芳賀幸四郎	茶と禅(1) —茶禅融合にいたるまでの過程—	茶道文化研究	3	3
原田道一	坐の行法と脳幹(いのちの座) —ニューサイエンスにおける身心一如の考察—	教化研修	31	3
久松由美子	御物海北友松筆網干図屏風—瀟湘八景からの独立とその時代性—	美術史	123	1
皆川広義	現代における寺院伝道の考察(→)	教化研修	31	3
村井章介	龍泉窯青磁	歴史学研究	579	4
山本英男	雲谷等顔の作風展開について	美術史	124	4

〔書評・紹介〕

石川力山	河村孝道著『正法眼蔵の成立史的研究』	日本歴史	481	6
佐々木明子	蔭木英雄著『中世禅者の軌跡 中巖円月』	日本歴史	482	7
広瀬良弘	船岡誠著『日本禅宗の成立』	日本歴史	478	3